

道路ユーザーネットワーク広場

NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK



ピフォーTW。奥様に「レジェンド」と呼ばれる伊東氏(64歳)、いざレストア開始!



ほぼ全バラ。実は6万キロのエンジンは不良で、同型を探してもらい移植しました。



知り合いの業者で全塗装されたカバ一類。これだけで花嫁さんに変身。

大きくチェンジした新型ジムニー、そして誕生60周年アニバーサリーのスーパ一カブが大人気です(私も欲しい!)。長く愛されるものには、コンセプトや遊び心や実用性や汎用性など、共通の何かがある気がします。そして最近生み出される車両は、当然、漏れなく優秀なエゴ仕様。けれど私が久々に手に入れた愛車は、なんとエコよりユニークさがポイントの30年前の旧車でした。信州は走行可能なオフロードが比較的多い林道天国なのですが、そこを行くための250cc前後のバイクを選び悩んで早一年。いよいよ購入という時になって、ひょんなことから浮かび上がったのが、ヤマハTW

200というオフも走れる愉快なバイクでした。太いバルーンタイヤが最大の特徴ですが、太過ぎてオフの走行性はイマイチ?。そして可愛さより気なさがウレシなだけに、かつて若者を中心に一世を風靡したことがありました。タイヤをオフからオンに変え、バッテリーを外すなど様々な手を加えてストリート仕様にするば、テレビドラマでキムタクが乗っていた通称「ティ一ダーバー」に大変身。

遊び心多きこのバイク、すべては人の縁から始まりました。我がカブのお客様で夫の知り合いだったT氏が、やはり共通の知り合いである長野県大町の木工業、横野文平氏の形見分けとして頂いたもので、再生専門のバイクショップや個人がたたく存在します。ピントと来たのは、カブのお客様でう府に上る旧車を蘇らせたレストアマニアの伊東省一氏。マッハIII、YD3、コレダ、CT250といった古の名車に

乗る、信州では頻りに名前を耳にする評判の安曇野の名人です。実は伊東氏も横野氏と交友があったことが分り、TWを巡って不思議な点と線が繋がります。そんな縁もあり、「いいよ」とレストアを引き受けて下さったのですが、よく考えたら私が今まで乗り継いだバイク50台は、ほとんどが新車か中古車。レストアが必要な状態から乗ったものはなく、初のレストアでした。なんだかもうドキドキ。とはいえ作業は伊東氏。私はヤフォクでひとつの部品を調達し、ネットで呼びかけて新しいシートを見つけて、新品のタイヤを買ったことだけ。あとはすべて伊東氏の手で完璧に蘇りました。1ヶ月後に見た時

全く乗っていないとのことだったので、ある日ピンときて聞いてみると、「いいよ。でも動かないよ」とのこと。確かに30年前のバイクであり、元の所有者も数年間乗っていないので、かなり手入れが必要そうでした。しかしこの信州はまだ、レストア王国。どんな家にも蔵があり、そこには旧車がゴロゴロ。そして現役で走っている元気な旧車の多さは、おそらく日本一(礼子推定)!。当然旧車

魔法の手にかかったTW200、さっそく乗ってみると、これがまた大感動。たいしてスピードは出ないし、エンジン音や振動が多いのに(時代に逆行?)、移動しているすべてが楽しく、ずっとニヤニヤしてしまうのです。帰る20キロの間に、100回くらい叫んだかもしれません。「コレ、楽しすぎる!」。かつて日本一周したTS250というスズキのバイクの匂いがしたので、よく考えたら時代が近く、「すべての道をゆく」というコンセプトが同じでした。車名のTWは、トルールエイとのこと。オン&オフの道をゆくり行く様は、30年経った今の自分にぴったりなのかも。さて、このバイクで近場の林道マップ、作らなくっちゃ。ワクワクが止まりませ

の感動といったら、もう(涙そう)!。タンクやプラスチックパーツは、すべて真っ白に塗装され、配線は全交換。分解清掃した箇所は膨大で、頭が下がります。新品部品がないものはネットや足で探すなど、手間暇も大変だったことでしょう。何より大変だったのは、今年の夏の暑さだったかもしれません。魔法の手にかかったTW200、さっそく乗ってみると、これがまた大感動。たいしてスピードは出ないし、エンジン音や振動が多いのに(時代に逆行?)、移動しているすべてが楽しく、ずっとニヤニヤしてしまうのです。帰る20キロの間に、100回くらい叫んだかもしれません。「コレ、楽しすぎる!」。かつて日本一周したTS250というスズキのバイクの匂いがしたので、よく考えたら時代が近く、「すべての道をゆく」というコンセプトが同じでした。車名のTWは、トルールエイとのこと。オン&オフの道をゆくり行く様は、30年経った今の自分にぴったりなのかも。さて、このバイクで近場の林道マップ、作らなくっちゃ。ワクワクが止まりませ

乗る、信州では頻りに名前を耳にする評判の安曇野の名人です。実は伊東氏も横野氏と交友があったことが分り、TWを巡って不思議な点と線が繋がります。そんな縁もあり、「いいよ」とレストアを引き受けて下さったのですが、よく考えたら私が今まで乗り継いだバイク50台は、ほとんどが新車か中古車。レストアが必要な状態から乗ったものはなく、初のレストアでした。なんだかもうドキドキ。とはいえ作業は伊東氏。私はヤフォクでひとつの部品を調達し、ネットで呼びかけて新しいシートを見つけて、新品のタイヤを買ったことだけ。あとはすべて伊東氏の手で完璧に蘇りました。1ヶ月後に見た時

乗る、信州では頻りに名前を耳にする評判の安曇野の名人です。実は伊東氏も横野氏と交友があったことが分り、TWを巡って不思議な点と線が繋がります。そんな縁もあり、「いいよ」とレストアを引き受けて下さったのですが、よく考えたら私が今まで乗り継いだバイク50台は、ほとんどが新車か中古車。レストアが必要な状態から乗ったものはなく、初のレストアでした。なんだかもうドキドキ。とはいえ作業は伊東氏。私はヤフォクでひとつの部品を調達し、ネットで呼びかけて新しいシートを見つけて、新品のタイヤを買ったことだけ。あとはすべて伊東氏の手で完璧に蘇りました。1ヶ月後に見た時

乗る、信州では頻りに名前を耳にする評判の安曇野の名人です。実は伊東氏も横野氏と交友があったことが分り、TWを巡って不思議な点と線が繋がります。そんな縁もあり、「いいよ」とレストアを引き受けて下さったのですが、よく考えたら私が今まで乗り継いだバイク50台は、ほとんどが新車か中古車。レストアが必要な状態から乗ったものはなく、初のレストアでした。なんだかもうドキドキ。とはいえ作業は伊東氏。私はヤフォクでひとつの部品を調達し、ネットで呼びかけて新しいシートを見つけて、新品のタイヤを買ったことだけ。あとはすべて伊東氏の手で完璧に蘇りました。1ヶ月後に見た時



三好礼子 エッセイスト・元国際ラリースト ~http://www.fairytale.jp/~

★三好礼子の★ ナチュラール・ロード



ぴっかひかのアフター-TW。「安曇野単車会」代表の伊東さんの腕は噂以上でした。



どこまでもトコトコ行けそう。ついに夫もオフ道に目覚めてしまったみたい。

九州の散歩道 長崎に残る「信徒たちの丘」

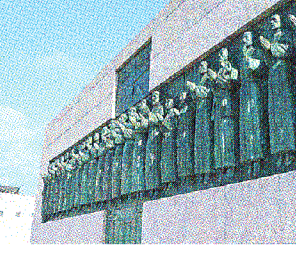
フリージャーナリスト 湯浅玲子

今年7月に世界遺産に登録された「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」。以前このコーナーで紹介した外海(そとめ)地区の集落も含まれています。昨年の宗像・沖ノ島に続いて九州から2年連続の登録で、豊かな文化を持つことにちょっと誇りを感じます。

外国人居留地の中に建てられた大浦天主堂は、中世ヨーロッパ建築を代表するゴシック調の教会として国内最古のもの。聖堂内を飾るステンドグラスには約100年前のものもあるそうです。長崎に投下された原爆で傷つきましたが、その後修復され、洋風建築としては国内で初めて国宝に指定されました。

長崎は坂の多い街で、今でも車では登れない細く入り組んだ坂道があちこちに残ります。大浦天主堂も日本二十六聖人記念館も小高い丘の上であり、多くの人がこの地を訪ねるために坂道を上り下りしています。昔も多くの人が信仰を携えて、この丘を登ったのだと思います。(写真提供:ながさき旅ネット)

登録された中から今回ご紹介したいのは大浦天主堂です。すでに観光地として多くの人が集まる場所になっていますが、ここは世界の宗教史上でも劇的な「信徒発見」の舞台です。1865年の天主堂完成直後に、浦上の潜伏キリシタンたちがここを訪れ、密かに守り続けてきた信仰を外国人神父に告白しました。知られていません。



国内最古の現存教会として美しい姿を見せる大浦天主堂

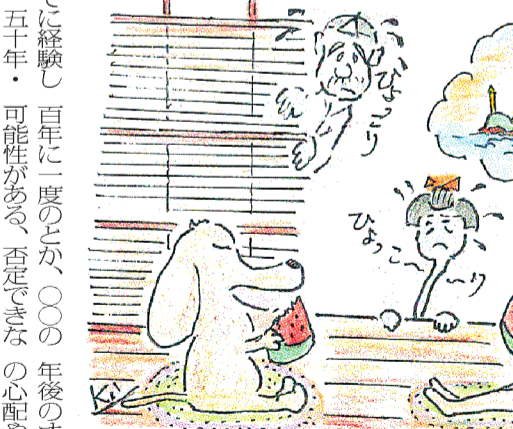
等身大のブロンズ像がはめ込まれた二十六聖人の記念碑

ハット 思いました。は難しい事です。しかし、世はAIだの、人工知能だの騒ぎたてている時代です。涼しい気合では乗り越えられませんが、もう少し確かなシミュレーション、予測、指示がでないものかと思っど、続く熱帯夜の中で考えているのかと思うと、表現者の苦勞が、ひしひしと感ずられます。それに、台風が日本列島を東から西へ縦断するなど私の記憶にない事でした。予想をすること

少年たちもいましたが、「信仰を捨てれば助けてやり組んだ坂道があちこちに残ります。大浦天主堂も日本二十六聖人記念館も小高い丘の上であり、多くの人がこの地を訪ねるために坂道を上り下りしています。昔も多くの人が信仰を携えて、この丘を登ったのだと思います。(写真提供:ながさき旅ネット)」

連日猛暑は、さすがに「心頭滅却すれば火もまた涼しい」の気合では乗り越えられませんが、もう少し確かなシミュレーション、予測、指示がでないものかと思っど、続く熱帯夜の中で考えているのかと思うと、表現者の苦勞が、ひしひしと感ずられます。それに、台風が日本列島を東から西へ縦断するなど私の記憶にない事でした。予想をすること

連日の猛暑は、さすがに「心頭滅却すれば火もまた涼しい」の気合では乗り越えられませんが、もう少し確かなシミュレーション、予測、指示がでないものかと思っど、続く熱帯夜の中で考えているのかと思うと、表現者の苦勞が、ひしひしと感ずられます。それに、台風が日本列島を東から西へ縦断するなど私の記憶にない事でした。予想をすること



いとか。重大事値になる心配やら、今じゃが起きてても、そないでしょと言いたくなる責任は...。のも、連日の暑さのせいでしょうか。夏になると車内の温度は、些かひねく高温に急上昇。ちよとだけれた見方でしょうか。だから、エアコンをつけてるから大丈夫と寝ている子供やペットを車内に残して見ると、被災地での泥をかき出し土嚢に詰める様子。炎天下でもありません。くれぐれも下に果てしなく注意を。それにしても、高速道路と繰り返す姿をの逆走が後を絶ちません。見ていると、二が、台風まで逆走すると、は、どうなってるんでしょ